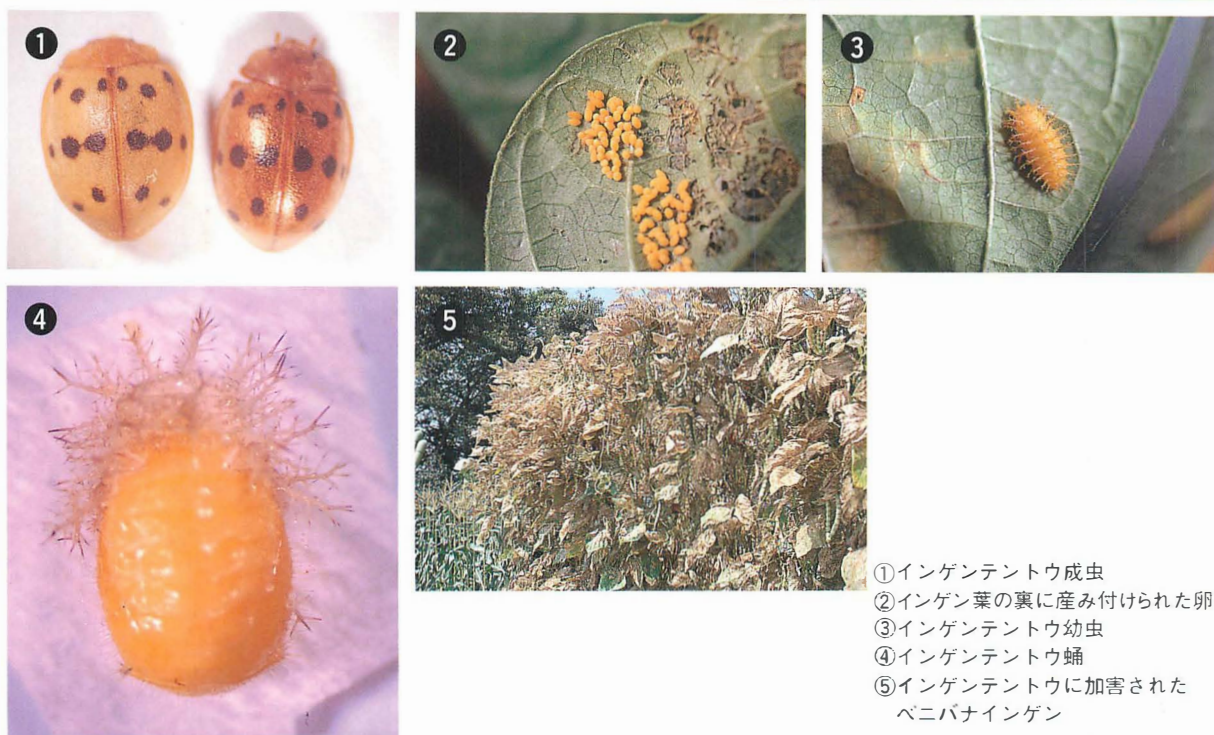


インゲンテントウの発生

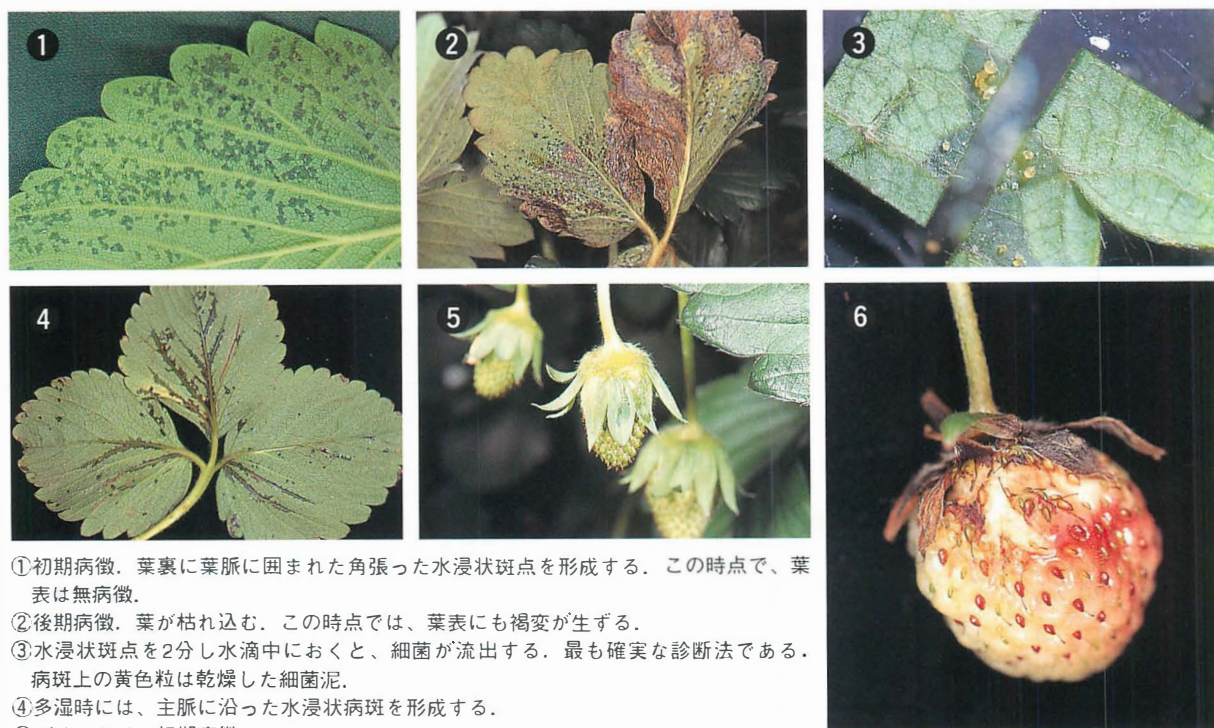
(豊嶋悟郎氏原図、本文17ページ参照)



- ① インゲンテントウ成虫
- ② インゲン葉の裏に産み付けられた卵
- ③ インゲンテントウ幼虫
- ④ インゲンテントウ蛹
- ⑤ インゲンテントウに被害された
ベニバナインゲン

イチゴ角斑細菌病の新病原とその防除

(外側正之氏原図、本文14ページ参照)



- ① 初期病徴。葉裏に葉脈に囲まれた角張った水浸状斑点を形成する。この時点で、葉表は無病徴。
- ② 後期病徴。葉が枯れ込む。この時点では、葉表にも褐変が生ずる。
- ③ 水浸状斑点を2分し水滴中におくと、細菌が流出する。最も確実な診断法である。病斑上の黄色粒は乾燥した細菌泥。
- ④ 多湿時には、主脈に沿った水浸状病斑を形成する。
- ⑤ がくにおける初期病徴。
- ⑥ がくにおける後期病徴と裂果症状。